

福島第1原発“事故”

放射能被害の拡大防ぐため 政府は英知集め全力を



ところが、東京電力や政府は「問題はない」と言いつづけてきました。これは「安全神話」がもたらした「人災」です。

危険な原発開発は中止し 自然エネルギーに転換を

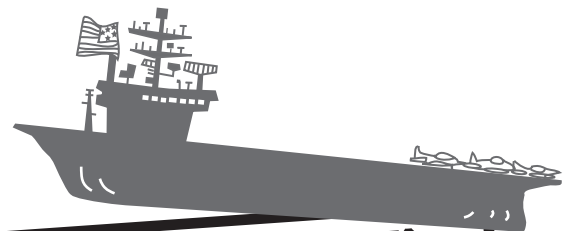
今回の事故で原発の危険性ははっきりしました。政府は無謀な原発新增設計画を中止すべきです。また、高速増殖炉「もんじゅ」やプルサーマルなど、猛毒のプルトニウムを利用する核燃料サイクル政策をただちにやめるべきです。全国の原発を総点検し、原発依存でなく、自然エネルギー中心に転換すべきです。

放射能汚染がさらに 拡大する危険が

東日本大震災と大津波によって、大量の放射能が漏れだす重大事故を引き起こした福島第1原子力発電所。高濃度の放射性物質が海に漏れ出しています。政府は一刻も早く、すべての情報を公開し、専門的英知を結集し解決に当たるべきです。

「安全神話」にもとづく原発推進 これは「人災」です！

これは「想定外」の事態ではありません。原発の危険を指摘してきた人々は、「大規模地震の津波で冷却設備がこわれて重大事故になる危険がある」とくり返し警告してきました。



★横須賀の原子力空母も危険！ —— 1日も早く撤去を

神奈川県横須賀市の米軍基地に配備された原子力空母ジョージ・ワシントンも危険です。これは安全審査も受けず、ただ米政府の「安全だ」の説明を頼りに、首都圏3000万人の鼻先に配備されたもの。一刻も早く撤去すべきです。

日本平和委員会

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277